# 【避難】想定最大外力を対象とした洪水ハザードマップの作成・配布

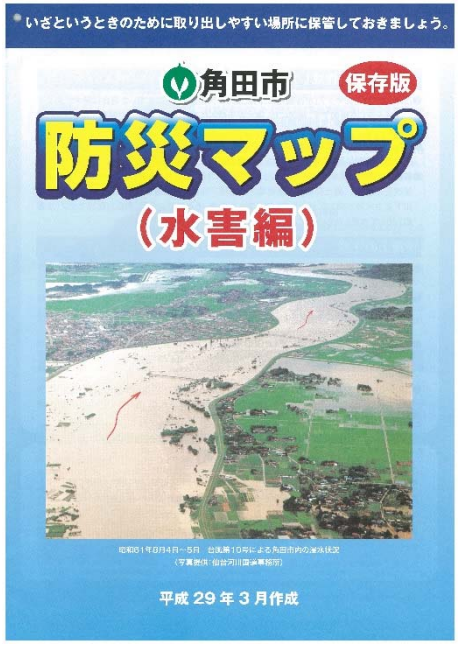
名取川・阿武隈川下流大規模氾濫時の減災対策協議会
＝「逃がす・防ぐ・取り戻す」ことにより、氾濫被害の最小化を目指す＝

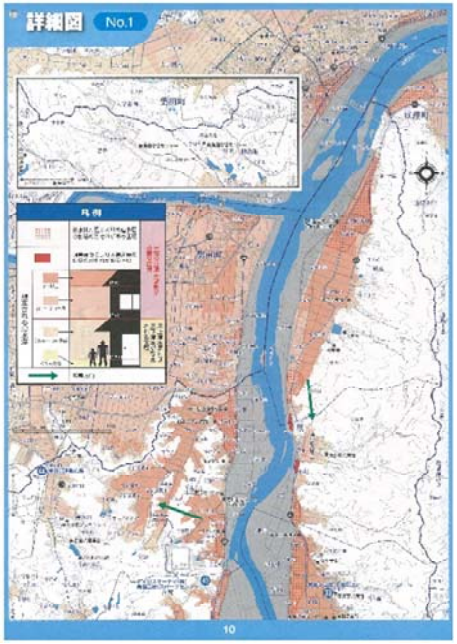
## 【現状及び課題】

○L2規模（想定最大規模）降雨等による大規模氾濫時には、現状のL1規模（計画規模）のハザードマップに示されている指定避難所が浸水する可能性があり、一部の避難所が活用不可。

## 【課題に対する対応】

○岩沼市、角田市、丸森町の3市町がL2規模（想定最大規模）降雨を対象として洪水ハザードマップの作成及び配布を実施（H29.4.3時点）





**平成29年3月末に作成した角田市のL2規模（想定最大規模）降雨を対象としたハザードマップ**

## 【今後の展開】

○ L2規模（想定最大規模）降雨を対象とした洪水ハザードマップについて、仙台市がH29.10、亘理町がH29年度中、柴田町がH30年度中、名取市及び山元町についてはH31年度中に作成・配布する予定。